

Narashino International Association



NIA SQUARE ナショナルスクエア

Quarterly News

第51号

2000年9月1日
習志野市国際交流協会

Special

モルディブからこんにちは

What's New

タスカルーサの若い風

Report

中国、三峡クルーズ

Report

N.I.A.活動報告

N.I.A. Youth

交流キャンプでハイ・チーズ!!

Who's Who

こんにちは・コ・ン・ニ・チ・ハ

Challenge

ザ・英文クロスワード

モルディブ共和国からAssalaamu alaikum!(こんにちは)

…モハメッドラシード(N.I.A.会員)

・Dheep mala (島々の花輪)

モルディブ共和国の「モルディブ」という名称は、サンスクリット語のDheep mala (島々の花輪) という意味から由来しています。サンゴ礁が隆起してできた島が約1,200、そして26の環礁からなる美しい海とビーチの国です。モルディブの面積は、僅か298平方キロメートルと、日本の西表島より、少し広いくらいです。

・どうしてこんなサンゴのカケラが積もって環礁と島々ができたのでしょうか?

実は、何万年もの間に、自然の営みによって形成されたものが、環礁です。環礁は、山が水の中に陥没して指輪状のサンゴ礁だけが海面に浮いているような形に見えるのです。そのサンゴ礁に永い時間をかけて砂が溜り島となり、真中はラグーン(浅瀬)となったものです。(サンゴの成長速度は、最も早いもので年間20~30mmしかありません)サンゴは死ぬと白くなり、波で碎けて細かい砂が積もり、やがて砂の陸が砂州、島となります。この砂州やサンゴ礁からできた小さな島々は、温かい南風、信じられないほどの美しい海、緑がこんもりと茂る、手のひらサイズの島々(海拔2m、島の面積は平均で0.6km²、大きいもので13km²)が私の故郷、「インド洋の宝石」とか「インド洋の楽園」とか、又「インド洋の真珠のネックレス」とも言われています。



●マレー環礁のリゾートホテルの浅瀬

・モルディブの先祖はどこから来たの?

モルディブはインド洋の赤道を挟んで南北に長く広がる国土(これは東京から下関ほどの距離)で、スリランカのコロンボから国際線で約1時間40分、インドから約600kmのところにあります。

モルディブの先祖はどこから来たの?の質問をよく受けますが、答えは謎のベールに包まれています。でも、言語的にみて、スリランカから来た「アーリア人種」に近いという説や、スリランカやインドから渡って来たドラビダ人が住みついた

という説が伝えられています。いずれも、紀元前の古代史は消失し、史実はありません。伝説によると、このアーリア人の王子が航海の途中、海が嵐ぎった時、島の一つに上陸し、原住民の大歓迎を受け、王様として君臨していたそうです。その後、アラビア、東アフリカ、マダガスカル、マレーシア、インドネシア等の文化が入ってきました。

大航海時代(15~17世紀)には、東西の海上交通の要と

してモルディブ島を訪れてくる人がいました。当時の島は、スルタンにより統治され、漁業を中心とした平和な生活でした。16世紀にポルトガル艦隊が「マーレ島」に上陸し、植民地にしました。でも、モルディブ人は、ポルトガルの支配を嫌い、1573年に独立解放に成功しました。17世紀に入り、今度はオランダ、そして18世紀には、イギリスの覇権主義に



●リゾートホテルのビーチバー

影響されました。1887年、イギリスの保護領となり、島民の首長であるスルタンによる統治に戻りました。スルタンは粘り強くイギリス政府と交渉した結果、1965年7月26日に独立協定に調印することができました。7年余りの交渉でした。モルディブ人は、とても忍耐強いです。1965年の独立と同時に国際連合に加盟し、3年後の1968年11月に新しい憲法を発布し、古いスルタン体制を廃止し、「共和国」となったのです。

ちなみに、モルディブは、12世紀までは仏教国でした。今まで最も、最南端の環礁にはスリランカに共通する古代寺院建築（ストゥーパや仏塔など）の遺跡が残っています。1153年にモロッコから来たイスラム教徒（名前はアバル・バラカート・ユースワ・バルベリ氏）の布教によってイスラム教に改宗しました。このイスラム教徒が一晩中、「コーラン」を唱え、「悪魔退治」（伝説によれば、島民が「ジニー」という魔に毎晩、生贊を求められ大変恐れられていた）を買って出て、引き換えにイスラム教へ改宗させたためです。このバルベリ氏は、今も聖人として崇められ、青と白の「ゼヤラス墓地」で眠っています。イスラム教は戒律が非常に厳しいことで知られていますね。リゾートの島々には、モスクがあり、日に5度のお祈りをしに、このモスクに集まって来ます。（男子は8才になると割礼をします）年に1回、30日くらい「ラマダン（断食）」があります。イスラム教徒の第9の月（西暦では11月～12月）に朝日が昇り、日の沈むまで何も飲食はしません。

・モルディブも過密都市？

モルディブ共和国には、約27万人弱（1996年）の人々が暮らしています。平均の人口密度は、916人/km²（1997年）と非常に高い。これは、小さな島々しかないからです。モルディブの首都「マーレ」の面積は、たった2km²しかありません。ここに約7万7000人程の人が住んでいるので、住宅不足はとても深刻です。人口密度は、世界で1、2番の過密な都市です。

正確な統計はありませんが、モルディブの平均寿命は男性58歳、女性59歳（1987年）と短く、日本とは比較になりません。

・山、川、そして鉄道・バス路線はない！

標高2mぐらいの小さな島々には、山も川もありません。敢えて言うなら、サンゴ礁の切れ目が水路になっているぐらい

で、この水路からダイバー達は深い海に入り、ナポレオン、マンタ、ジンベエザメ、ウミガメなどと戯れることが出来ます（勿論、猛毒の魚達、例えばオニダルマオコゼもありますので、ダイビングする人は充分注意してください）。

リゾートの島々は、どれも歩いて一周できる小さな島々ですから、鉄道やバスの路線もありません。首都マーレや一部の島を除いて、車やタクシーをみかけることは殆どありません。その分、空気は澄んでいます。

ひとつの島に、ひとつの機能を持たせるのが、モルディブ流の都市計画です。「ゴミの島（日本にもありますね）」、「漁民の島」、「大統領官邸の島」、「コカコーラを作る島」、「養鶏の島」、「フルーツの島」などがあります。無人島もあります。

皆さんのが最初に到着する「マーレ国際空港」のある「マーレ島」は、モルディブの首都として、政治、経済の中心地になっています。

学校や、モスク、マーケットなどがある島です。このマーレ島のランドマークは、何と言っても「イスラミック・センター」で、金色に輝くモルディブ最大のモスクがあり、もう一つのモスクは「フラディ・モスク」として親しまれている古い「Hukuru Miskiyi」です。ここは市民の憩いの場となっています。又、「スルタン・パーク」も市民の憩いの場で、緑に包まれた公園にスルタンの宮殿やイスラム教に改宗する以前のモルディブの遺跡があります。

・どうやってリゾートの島に行くの？

移動手段は、水上飛行機か船です。マーレ国際空港に到着したら、ここから最も遠い環礁にあるリゾートの島々へは、水上飛行機で渡るか、リゾートが所有している専用のボートか、ここから近いリゾートの島々には「ドーニ」（アラブ式の平底船でスピードは時速15kmとのんびりした船足）や「スピードボート」で移動します。

・水道の水は飲めるの？

旅行者がリゾートホテルに着いて多分びっくりすることが多いと思います。まず、「ハウスリーフ」（リゾートを取り囲むサンゴ礁のこと）で、膝が浸るか浸らないぐらいの浅瀬の上に、「水上コテージ」や「ホテル」が建っています。水上コテージは、多くは平屋で、しかも一戸建てで、海とビーチが360度展望できます（バア環礁のソネバフシには2階建てのコ



●ビーチバーの客席

テージがあり、1階はリビングと半屋外のバスルーム、2階は寝室になっています)。

水道の水は飲めません。「ミネラルウォーター」にして下さい。

最近は技術の進歩のお蔭で、塩水から真水に換える日本製などの装置(1日当たり100トンぐらいいの真水を作る)を殆どのリゾートホテルは取り入れています。

この装置からの真水は、台所用や植物への散水などに使われています。雨水や海水を濾過したものを併用しているリゾートホテルや一般家庭(家庭にはココナツ、マンゴー、パパイヤの木など)も多いです。使った水は、汚水処理施設で再処理(塩を加える)して海に返しています。環境に優しい処理技術しか使いません。

雨期は5月~10月です。この記事が出る9月のモルディブの気温は31°C(最高)~26°C(最低)です。台風はありません。雨期といつても、一日数回のスコールが降る程度で、あとは晴れます。

エアコンや冷蔵庫は完備しています。自家発電が多く停電の心配は要りません。近頃は、「ソーラ発電」を導入しているところもあります。

・おすすめ料理は「ガルディア」

モルディブ料理は、魚をベースにしたものが多く、魚好きの日本人の舌によく合うと思います。魚(カツオなど)をカレーにしたり、ボイルしてスープだけ取ってご飯(サフランライス等)にかけてたべます。

絶対、口にしてはいけないものがあります。豚肉です。イスラム教で禁止されています。(パソコンも不可)飲酒は基本的に禁止されていますが、観光客が集まらないのでリゾート内では例外的に許可されています。(アルコールなどは、空港で没収されます)

ディナーの時の服装は、男性はポロシャツ、襟付きのカジユアルシャツと長ズボンです。女性はサンドレスです。タンクトップ、ショートパンツなど肌の露出の多いものは避けてください。

・おみやげに「カツオ節」をどうぞ!

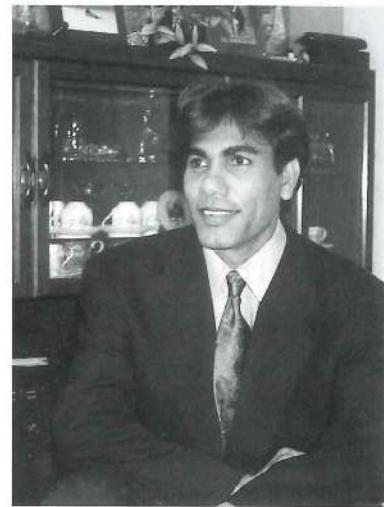
モルディブのみやげものに「カツオ」の頭と内臓を取り除いて釜茹でにし、天日干しした「モルディブ・フィッシュ」はいかが、これは日本のカツオ節と似ています。日本のものより柔らかで、これをほぐしてタマネギやココナツ、レモンなどを混ぜてチャパティで包んで食べます。お菓子ではココナツから作った甘い「クリグラ」がお土産に喜ばれます。

・「オンドリ」で海を眺めながら「ディベヒ語」は如何?

「オンドリ」とは、モルディブのプランコ式の椅子のことです。モルディブの国語はDhiveh語です。この古語は、墓石などに刻まれて残っています。サンスクリット(梵語)の派生語で、アラビア語とヒンドゥー語の要素を持っています。右から左へ書くのが特徴です。英語での教育(日本で言う小学一年生から)もあります。カリキュラムは、このディベヒ語、コーラン、物理、算数、英語、アラビア語など、特

に最近は「環境」について幼児の頃から熱心に教えています。地球で大事なサンゴ礁を守り伝えるため、地球温暖化を心配してのことです。

魚はディベヒ語でMass、水はFen、美しいリーディはReethiと言います。Assalaamu alaikum(こんにちは)!と言わたら、Wa aleikumusalaamu(こんにちは)!と返してください。



●自宅でくつろぐラシードさん

最後に、「日本に来てから全然日本語が分からない時、淋しい思いをしました。今、だいぶ日本語を話すことが出来るようになりました。もっと、話せるようになりたいと思います。私はこのすばらしい故郷に帰ったら日本語を教えることが夢です。

何時か私の国、モルディブを訪ねてみて下さい。きっと美しい海に感動すると思います。Shukriyyaa(ありがとうございます)

(文責 館川 裕 編集長)

図らずも、N.I.A会員の勝又陽子さんが、モルディブの北マーレ環礁にある「ロヒフシ・アイランド・リゾート」を訪れ、その体験記が投稿されましたのでここに添えます。

「ロヒフシ」体験記

ひやか かつまた ようこ 勝又 陽子
日焼けは恐いけど、海が大好きな中年女性三人、ついに憧れのモルジブに行ってきました。

いつもは、顔なじみのインストラクターませのいわゆる「殿様ダイブ」ですが、今回は、安さとひきかえに全て自分達でやらなければなりません。拙い英語力に度胸をプラスして、一日がかりで目指すロヒフシ・リゾートに着きました。

地図とルームキーを渡され、深夜ひっそりとした木々の中をコテージに向かう時は「ええっ?」という感じでしたが、一夜明けるとそこは光の世界でした。朝日が海と珊瑚の白砂に反射していたからです。

テレビもラジオもなく一切の情報が遮断された中で、ゆったりとした時間が流れていきました。ダイビングの合間にはスノーケルをくわえてビーチで遊び、餌を目当ての40cmのキヘリモンガラにつきまとわれて必死にフィンを動かして逃げたり、楽しい日々でしたが、ひとつ残念なのはビーチの珊瑚が死滅していましたことです。もちろん、ダイビングポイントの珊瑚は色鮮やかでしたが、改めて沖縄のビーチの珊瑚礁保護の重要性を思いました。

海と空の間に置き去りにされたかのようなモルジブの島々、その中のたった一つの島で過ごした貴重な体験はフレンドリーな島のスタッフの笑顔と共に今も残っています。

姉妹都市・米国アラバマ州タスカルーサ市から10人の高校生と3人のスタッフが、6月1日から12日まで習志野市を訪れました。タスカルーサ市からの青少年受け入れは今年で7回目になりますが、今年は例年と異なり時期を少し早めて習志野市の子ども達が夏休みに入る前のこの時期に是非日本の子ども達の学校生活を体験し、中学校において交流をしたいとの要請があり実現することとなりました。そこでN.I.A.では市教育委員会、学校関係者に依頼し、受け入れを快く引き受けさせていただきました。ホストファミリーの皆さん、そして我がN.I.A.の通訳、日本語ボランティアの皆さんとの協力により、タスカルーサのメンバーを暖かくお迎えすることができました。



●歓迎会で「そでつ鼓連」とともに

日本語クラス体験

N.I.A.の日本語ボランティア3名が、学校生活を体験するための事前学習として東部体育館の講義室で午前と午後の2時間ずつ、2日間にわたり日本語の特訓を行った。

講師は、日本語ボランティア養成講座でおなじみの手綱久枝さんに務めて頂き、日頃の成果を発揮してもらった。

朝のあいさつから始まり、自己紹介、日常の基礎的な会話をロールプレーを交えながら、殆ど日本語だけというユーモアたっぷりの楽しい授業だった。テキストは、手綱さんのオリジナルで、この講習の

ために準備された、短時間で覚えられる中味の濃いもので、講習後、彼らにプレゼントされた。



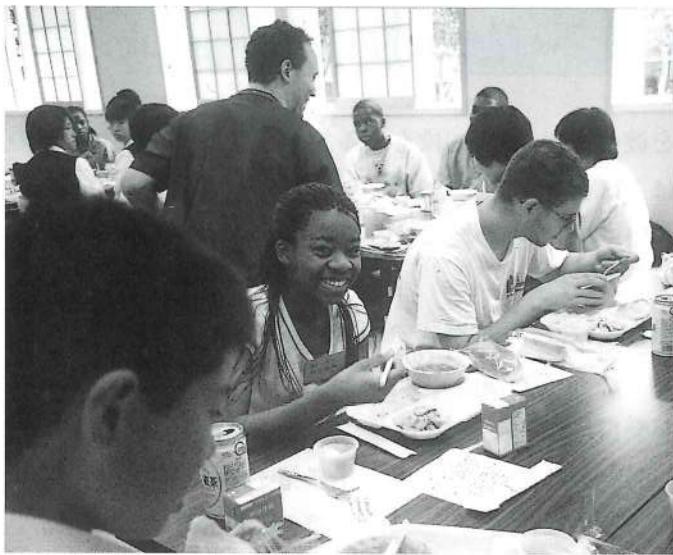
●日本語は難しかった

学校訪問

タスカルーサの高校生は、6月2日に習志野市立第2中学校、6月5日に第4中学校を訪問し、ビデオなどで学校紹介を受けた後、談笑を交えながら楽しく給食を頂きました。特に習志野市の子ども達が小道具（顔に付けると笑った顔になる不思議なメガネ）を用いて楽しい雰囲気を作ったり、写真を撮ったり、好きなアーティストの話に花を咲かせたりしていました。両国間では、マライアキャリーが一番人気のようでした。

6月6日から6月9日までの4日間は、2人ずつに分散して日本の中学校生活を体験しました。登校時から一日中学校生活を満喫しました。英語クラスはじめ、実技のクラス（体育、書道、家庭科）などを体験し、日本の学校は授業が多く学校にいる時間が長いが、学校の指導が行き届いているせいか、子ども達がきちんと教育されていると感じたようです。特にお掃除は徹底していて、先生が一緒に参画していて校舎内がきれいだということに感心していました。タスカルーサの学校も日本の学校のようにやっていれば、埃っぽくならないのにと感じたようです。

学校の昼食に関しては、タスカルーサの学校では、



●給食を頂きながら交流会

外で食事をすることが自由だし、カフェテリアなどで温かいランチを提供しているところがあったり、家からサンドイッチなどを持ってきてたりするそうです。日本の給食については、なんとか食べられたようですが、どうも苦手のようでした。食文化を受け入れるには、もう少し時間が必要かもしれません。それでも、日本の給食は、栄養が沢山あって良いとも言っていました。又、教師が配膳を手伝っている姿にも感動していたようです。(学校訪問の項は、子ども達のアンケート調査から感想を記しました。)

「姉妹都市」の絆

わずか12日間ではありましたが、両都市間の交流が深まっていることを確認することが出来ました。例えば、学校訪問した際に、各学校独自の歓迎の仕方がありました。ビデオで学校の1日の様子を紹介し、解説してくれた学校。校長先生自ら英語で挨拶のことばを述べてくれた学校。習志野高校では、盛大なプラスバンドの演奏を聴かせてくれ、涙が出るほどの感動を得て熱くなれたこと。部活動体験。気持ち良く剣道着や柔道着を貸してくれ、技まで教えてくれたり、受け身になって1本勝ち点を取らせてくれるなど。

沖縄サミットの首相の挨拶でも、通訳を通すのが通常であることを考えると、21世紀を担う子ども達にとっても教える側が先ず努力してみせる姿勢は必要ではないかと思いました。タスカルーサのメンバーのまなざしがキラキラ輝いていたことがすべてを物語っていたと思います。



●習志野高校吹奏楽部の歓迎演奏

~ケリーからのメッセージ~

こんにちは

私達タスカルーサ姉妹都市派遣団は、N.I.A.の皆さんに対し、習志野市で12日間滞在できることを感謝致します。N.I.A.は今回の旅行を大変面白いものにしてくれました。それぞれのホストファミリーは素晴らしいです。皆さんは、12日間私達を歓迎し、それぞれの家族がどのようなものかを紹介し、体験させてくれました。私達全員は、夢にとどまらず、何らかの多くのことを体験でき、とても幸運でした。

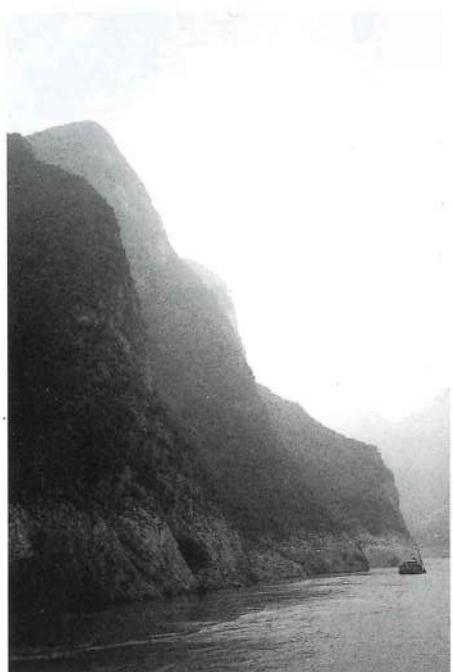
私達は7月に習志野市の学生がタスカルーサに来ることを喜んでいます。そして私達がここで楽しんだのと同様にタスカルーサでより楽しんでもらえることを期待しています。

素晴らしい一時をありがとうございました。



●メッセージを発表するケリーさん

この度、習志野市日中友好協会の有志で訪中し、相互
親善を少しでも果たせればと参加しました。では、その
旅の経過を思いのまま記述します。



●三峡クルーズ、船からの長江

下りの起点として知られている。水路を中心とした交通、交易の中心地である。坂や石段が多く、起伏に富んでいる所である。今では人口も増え、その数は1400万人とも言われている。アジア最大の人口過密地であるとか。長江に突き出た東端が朝天門で長江下りの出発点だった。丸一日ブラブラしても面白そうな街である。夕食の四川料理を済ませ、街を散策した。夜、9時になっても薄暮の感じである。メインストリートは既に明かりが消えていたが、飲屋街は露天を含め賑わっていた。

翌5月23日、朝食後いよいよ待ちに待った三峡下りである、重慶港より豪華船マルコポーロ号に乗船、午後3時頃鬼城観光のため下船した。中國民間伝説の幽霊の舞台として名高い城の見学は、道は急坂が多いが、中国特有の自然と環境は素晴らしい。夕食は船に乗り、ステキな船長による歓迎の会となった。夜のイベントはファッショントークが開催された。船客は様々で、日本や中華民国、香港から多く参加されていた。

3日目の5月24日は白帝城観光である。三国志の劉備ゆかりの地を見学のため下船、桟橋

を渡ってすぐの996段もある急斜面の階段を上りきるのはよほどの健脚者でなければ無理である。籠にのる以外はない。雨の中の籠による石段上りの経験は貴重であり、楽しかった。

白帝城には、唐の時代の詩人、李白の詩が刻まれていた。

早発白帝城 [唐・李白]

早に白帝城を発す

早発白帝彩雲間

早に発す白帝彩雲の間

千里江稜一日還

千里の江稜一日にして還る

両岸猿声啼不止

両岸の猿の声啼き止まざるに

輕舟已過万重山

軽船已に過ぐ万重の山

第一の峡、瞿塘峡を船内で眺めるが、筆舌に尽し難い。午後は巫山の小三峡を上陸観光。長江とは打って変わり、澄んだ水がきれいであった。柳葉舟（小舟）に乗り、川は浅く狭く急流で、変化に富んでいる左右の岩山はこれまた絶景である。日本の峡の比ではない。

第二の峡、巫峡で折返しとなる。そこで小休止。色とりどりの小石がいっぱい、皆思いのまま土産にと採取していた。そして、そこから、専用バスで本船にもどった。船内で夕食を済ませ、今夜も船中イベントを鑑賞。今夜のは昨夜とは趣向を変え、アトラクションは風船割、3人4脚の競技、ダンス、カラオケ（日本語でも歌える）などで、船中最後の夜に相応しい。我を忘れて、その雰囲気に陶酔している方もいたようだ。うらやましい限りである。

5月25日、朝食後、船内で2009年に完成予定の新三峡ダムの建設工事現場を見学。その規模の大きさには感動であった。西陵通過、宜昌にて下船。専用バスで直線



●船からの長江

距離を約3時間沙市経由武漢に向かう。その出発前、パースポーツの紛失騒ぎがあったが、実はしっかりと身についていてことなきを得たが、この騒動もまた旅のひとこまとなつた。水難(下痢)に悩み苦しんだのが原因とか。長い時間をかけて、やっとのことでの沙市の荊州にて1000年も前の古城見学。夕刻、武漢の長江大橋を見学。長さ1670m、高さ80m、上下2段の橋である(上は車道と歩道、下は鉄道というこの大橋の中心点は中国東西南北の書く1200Kmの近等距離に位置し、人体で言えばハソの地点に当る)。橋を渡った所に黄鶴楼という中国風の建物が見えた。「江南三大名楼」に並ぶという。夕食はレストランにて中国歌謡ショーを観ながら舌鼓を打った。特に、今夜は皆、食欲旺盛であった。下痢をされた方だけは元気がなかった。自業自得で同情の余地はない。生水をガブガブ飲んではいけないのである。

5月26日、朝食後、国内線で商都上海へ。専用車で豫園の玉仏寺と外灘地区見学。夕刻は船上レストランで今回の旅行のメインであります上海農水局の王主任を囲み、日中友好交流会が開催された。日中双方の情報交換と今後の友好的発展などについて意見交換をし、大変有意義であった。夜は世界的に有名な中国上海サーカスを鑑賞した。若い少年少

女が演ずる曲技、演技は目を見張るものがあり、感動した。特に笑顔が美しかった。久し振りに劇場内の雰囲気に酔つた一日となった。

5月27日、旅も今日で終わりである。朝食後、上海空港より国内線の東方航空で北京に行く。昼食後、北京から国際線で一路成田空港である。1週間長いよう短かかった日々をガイドしてくださった張さんともいよいよお別れである。一つ一つの想い出が走馬灯のように頭をよぎるとき、じっと見送る彼の人間性に胸を打たれた。人と人とのふれあいを大切にしたり、国と国との交流を深めたり、この満感あふれるものを今度の旅を通して生涯の想い出として脳裏に刻んでおきたいと心より感じた旅行であった。



●瞿塘峡の入口付近

***** 交流部会からのお知らせ

●N.I.A.日帰りバスツアー 芭蕉の足跡と落ち鮎を賞味する会

漂泊の俳人、松尾芭蕉が「奥の細道」の道中訪れた栃木県黒羽町、城下町としてまた那珂川の川湊として栄えた町には江戸の風情が残っています。もう一つの山寺「雲巖寺」や「芭蕉の館」を訪れ、昼は那珂川の清流にあるやな場で鮎料理を賞味します。帰路は、笠間焼の見学や買い物を楽しむ旅です。親睦を深める小さな旅に是非ご参加ください。

旅行日：2000年10月12日(木)

参加費：5000円(昼食付き)

参加人員：30名(先着順)

●N.I.A.海外ツアー オーストラリアの旅…ブリズベン、ブンドル湿地訪問ほか

オリンピック後の静かなオーストラリア、大自然の魅力あふれるクイーンズランド州で谷津干潟と姉妹提携を行ったブンドル湿地での交流や、南回帰線上のリゾート地カプリコーン、ケアンズ周辺のグレードバリアリーフや熱帯雨林での自然体験型の旅で、自由行動日もあります。皆様のお好きなオプションツアーも楽しめます。



添乗員同行です。

旅行日：2000年11月22日(水)～28日(火)

費用：205,000円(食事は朝・夕全てと昼3回付)

募集人員：30名(先着順・最少催行15名)

※お申し込み・問い合わせはN.I.A.事務局へTel.FAX 452-2650



Report/N.I.A.活動報告

世界の料理教室（第2回）

沼澤 佳子（編集部）

N.I.A.比較文化部会主催の「世界の料理教室」は、梅雨の中休みとも思えるさわやかな青空のもと菊田公民館二階の調理室において和やかに行われました。小さいお子さん連れの若いお母さん、一人暮しのお姉さん、ディズニーランドでダンサーをしているお姉さん等、計14名の方が参加されました。

今回は、「身近な食材を使って初夏の食卓」と題して日本料理をN.I.A.会員の榎本和子さんに講師を務めていただきました。メニューは、やりいかの酢味噌、長芋梅風味甘煮の前菜はじめ、じゃが芋、人参、ピーマンの辛子明太子炒め煮、茶碗むし、そしてデザートに抹茶ゼリーと、彩りも鮮やかで、食べて美味しい、適度な満足感を味わうことができました。特に、長芋の甘煮は梅干の酸味と相性がよく、上品な味を出してお勧めの一品です。食欲のない時にも頂けそうです。

又、美味しいものを頂いた後に、思いがけずダンサーの方がハワイアンダンスを披露してください、公民館の方達も集まり、ダンスを教わったり、英語でおしゃべりしたり、N.I.A.ならではの楽しいお料理教室でした。次回は10月の開催です。



●榎本先生の手もとに注目

七夕祭り より高く短冊を

栗原 七郎（日本語ボランティア）

昨年のように姫君の出迎えはありませんでしたが、再度皆様にお会い出来ました。皆様のお陰です。今回は姫君に代わって関老師より細々と私達を紹介して頂きました。老師の紹介でお気付きの事と思いますが、私たちの生い立ちにはロマンが沢山あるのです。私達のロマンを調べる事は皆様のストレス解消に役立つものと確信しております。

笛吹事務局長提供の笹竹の背が高く誰も天辺に短冊をつける事が出来ませんでした。理由はそれだけの事なのですが、イランの青年には大変不思議に思えたらしく、何故天辺に短冊を付けないのかと質問がありました。彼によれば天辺はより天に近く願い事が早く天に届くとの

事でした。勿論彼は冗談で言ったのでしょうか、私供の様に仏教伝統で育った者には咄嗟に出ない言葉だと思われます。私供昨年トルコを旅行しました。その時あちこちに尖塔が林立しているのです。トルコの方に問いますと、より天に近付く為に高さを競って建てるのだと言う返事でした。眞偽のほどは定かではありませんが、イスラム伝統にはその様な考え方があるのは確かな様です。中國の方々に何を願い事に書きますかと問うと、異口同音に家族の健康と繁栄との答えでした。書く時の真剣な顔。本音なのです。

昨年も願い事を適える様一生懸命努力致しました。結果は如何だったでしょうか？今年も皆様の短冊を天の住家に持て行きます。でも一番大事な事は各人が努力する事です。

天に帰るに当たりメッセージを一つ、今地上では老後の何々とか定年退職後の何々とかお騒ぎの様ですが、私達の生き方を参考にするのも一案です。では又会う日までバイバイ。

N.I.A.の皆様へ

彦星 織り姫より



●七夕祭り…今年の願い事は!!

「世界の人々と語ろう、遊ぼう」

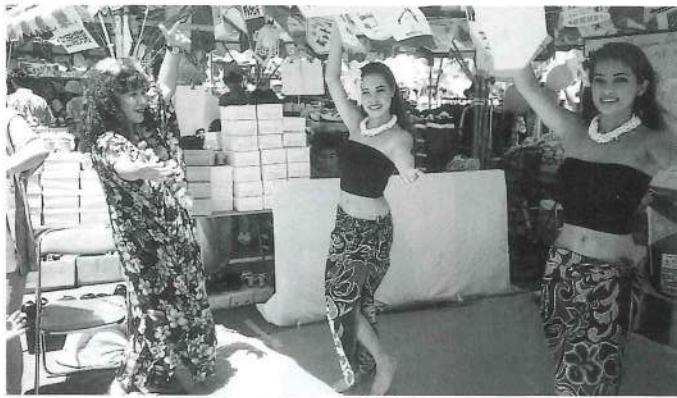
本田 博（編集部）

本行事は、習志野市国際交流協会の主催で、7月30日前半から午後4時半まで市民まつり会場で開催され、海外からのゲストと市民の交流が深められた。

最初に、ハワイ大学学生のケハウさんとイボさんによるフラダンスの披露があり、踊り方についての説明もなされた。もともとフラダンスは1700年代から始まり、当初は男性だけが踊ることを許されたそうです。

メキシコの小山田マリアさんからは、メキシコ音楽の「時計」やボレロの紹介があり、サボテンの食べ方や粘土と色紙及び調理用の金具を使ってのタコスの作り方などが紹介された。

タイの倉田ナリーさんと石田ワチャリーさんは、合掌による挨拶や感謝の仕方の紹介があり、ラムタイという王様を祝うダンスの披露があった。細やかな指の動



●フラダンスは華やかに！

きは苦しみを楽しくしようとの意味があるそうです。
フィリピンの西條ジェシカさんとお友達並びに男女の学生からは、伝統的なキャンドルダンスとパンプーダンスの披露があり、会場から、パンプーダンスの手ほどきを受け、挑戦する人も見られた。

オーストラリアのアマンダ・ユイントンさんからは、オーストラリアの国旗の意味、国の面積・人口、出身地のプリズベンやシドニーなどの主要都市、オーストラリア英語などの紹介があり、活発な質疑応答がなされた。

アメリカのミサト・タケモリさんからは、アメリカの主要都市や歴代大統領、出身地であるニューヨーク州と市について、会場へ質問が投げかけられ、ご本人より適宜説明がなされた。

中国の王麗華さんからは、簡単な中国語の紹介の後、中国の衣・食・住・行（交通）の実情について説明があ



●タイ舞踊は優雅に!!

った。中国人は野菜を多く取ること、様々なお茶が嗜まれていること、民族衣装・方言の話など話題は尽きなかった。
炎天下の中、一コマ・一コマや話題に涼が感じられた。

2000年タスカルーサ市桜まつり絵画、俳句コンテスト

恒例のタスカルーサ市桜まつりが、本年も3月から4月にかけて開催されました。種々の日本文化を紹介する催し物が行われましたが、その中で俳句、絵画コンテストに習志野市内の小・中学校から応募がありました。

絵画のテーマは「私のアメリカ」、俳句の題は「心」でしたが、絵画107名、俳句513名の応募者の中から次の方々が入賞され、6月3日開催のタスカルーサ市青少年歓迎会の席で表彰状が授与されました。

＜絵画の部＞

(応募時学年)

- | | | |
|----|--------|---------|
| 1位 | 中桐 俊樹 | 実穂小学校4年 |
| 2位 | 桜井 信太郎 | 実穂小学校4年 |
| 3位 | 堤 たみ乃 | 秋津小学校6年 |

＜俳句の部＞

中学生の部

(応募時学年)

- | | | |
|----|------------|---------|
| 1位 | 山口 あいこ | 第6中学校3年 |
| | 雪の中 ひとつの灯 | 母の心 |
| 2位 | 佐々木 里恵 | 第6中学校3年 |
| | 夏登山 励まし合う声 | 心を結ぶ |

小学校上級生の部

(応募時学年)

- | | | |
|----|---------------|----------|
| 1位 | 横山 知美 | 津田沼小学校4年 |
| | さむぞらに よりそう鳥に | 心なごむ |
| 2位 | 東條 彩美 | 津田沼小学校4年 |
| | もみじがり やまもはやしも | おしゃれする |

小学校下級生の部

(応募時学年)

- | | | |
|----|---------------|---------|
| 佳作 | 宮澤 優作 | 実穂小学校2年 |
| | やっときた さくらがさいて | たんじょう日 |

習志野文化ホール自主事業

トルコ国立イズミール交響楽団演奏会

＜ジョイント出演／習志野高等学校吹奏楽部＞

チケット 9月15日（金・祝）午後5時開演

発売中 S席：4,000円 A席：3,000円 B席：2,000円

吹奏楽 マーラー／交響曲第1番「巨人」第4楽章より 他

管弦楽 交響組曲「東京シンフォニー」／吉田正作曲 大沢可直編曲
チャイコフスキイ／イタリア奇想曲 他

国際交流協会会員10%割引

（会員証の提示をお願いします。予約のさいは会員であることを申し出て下さい。）

予約・問合せ 習志野文化ホール TEL047-479-1212

Working in Japan

ワーキング・イン・ジャパン
科学技術者のためのガイド

ASME
PRESS

An Insider's Guide for Engineers and Scientists, Second Edition

Editor / Author: Hiroshi Honda

本田 博編著 新刊洋書

Get practical answers to all of your questions about Japanese employment practices, the workplace, cross-national recognition of academic and professional credentials, conducting business with the Japanese, working for Japanese companies, foreign companies in Japan, fellowships at Japanese national institutes and universities, and more.

2000 320pp. Hardcover ISBN: 0-7918-0152-7 Order No. 801527 \$40

To purchase a copy, please contact your local bookseller or visit our website: www.asme.org. For inquiries, you may fax or telephone: 047-477-8571 or email: hondah9876@aol.com
(お問い合わせ) 電話・ファックス兼用 電子メールアドレス



バーベキューでハイチーズ♡

イエ~イ!

交流キャンプでハイ、チーズ!!

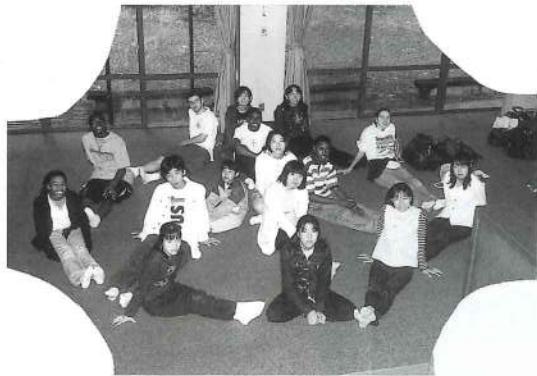
6月1日に、習志野市と姉妹都市交流のあるタスカルーサ市から10人の高校生がやってきました。ホームステイや様々なイベントを通して交流していく中、6月10、11日には習志野市の中・高校生も参加した交流キャンプが行われました。

キャンプ初日は、観光だけでなくバーベキュー やゲーム大会などもあり、初めはなかなか話せなかつた人も、1日が終わるころには笑顔も見られました。

2日目はあいにくの霧と雨模様でせっかくの景色がみられず残念でしたが、芦ノ湖の遊覧船観光、帰り道にはアクアラインの海ほたるにも寄り、習志野が近づくにつれて皆、別れを惜しんでいました。あつというまの2日間でしたが、とても楽しい2日間でした。初対面の人達といきなり話すことは難しいですが、一度仲良くなれば楽しくなります。恥ずかしがらずに国際交流協会の活動に参加してみてはどうでしょうか?



ケリー's SMILE ニコッ!!



最後につながった16人の輪!



視線はどっちへ!?

参加者にインタビューしました!

“交流キャンプに参加してどうでしたか？”

鈴木智花：楽しかったけど、なかなか会話のきっかけがつかめなかった。

飛田美咲：外国人の人とあまりしゃべった事がなくてぎくしゃくしたけど、今はいつでもWelcome!!

瀧田美帆：最初は緊張していたけど、夜は1番Dangerousで楽しかった。

雨宮早紀：最初は人数が少なくて「あれっ？」て感じだったけど、いろんな人と関わって楽しかった。夜ははじけちゃいました。

沼澤真以子：初めての経験だったけど、いろんな人と交流できてよかったです。

赤廣直子：いろんな事を通して、みんなと仲良くなれたので良かった。

永坂香奈：交流キャンプを通して、今まで話したことのないN.I.A.の年の違う人達と話せて良かった。

阿部俊之：久しぶりに、英語がしゃべれてよかったです。あのあとマイク（習志野市ALT）と釣りに行ったり。いい機会になりました。

会員紹介 / こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ / みなさん、どうぞよろしく！

大紅袍紅茶（紅い服紅茶）

丹波友蘭（谷津在住）

福建省の北部、中国十大名山の一つ武夷山の麓が私の誕生の地です。大変美しく、静かな所です。武夷山の中腹に大変珍しい三本のお茶の木があります。昔清朝の康熙皇帝（康熙字典を作らせた人）が妙薬を求めて武夷山を訪れた時、村人が或るお茶の薬効を皇帝に教えました。皇帝はその葉を持ち帰り、胃腸病に苦しむ母親に煎じて飲ませたところ、三日後病は完治したそうです。皇帝はすっかり感激し自分の紅い大きな衣服をその木の上に被せて木を保護させ、茶守りを任命したそうです。このことから大紅袍紅茶と名付けられた様です。この木は岩と岩との間に生えている事から岩茶とも呼ばれ、年間で400gから800gのお茶しか作れず、今までにそのお茶を飲んだ人は康熙皇帝の母親の他に毛沢東さん、鄭小平さん等々ごく限られた人達だけだそうです。この茶を挿し木して増やされた第二世代、第三世代、第四世代の木々からとれたお茶が今流通しています。これ等は小紅袍紅茶と呼ばれております。日本でもその茶の一種が売られています。一度試飲をお勧めします。岩茶をご覧になりたい方は入場料日本円で約二百円を払えば見る事が出来ます。又私の故郷は竹林の多い所です。時々竹林の中にいる虎の絵を見掛けますが、多分私の故郷の光景かもしれません。私には兄三人、姉一人、弟二人、妹三人の十人兄弟姉妹があり、まさに現在の中国では考えられない様な大家族です。兄弟姉妹が多いのは大変楽しいものです。親元から離れて寄宿制度の学校を卒業しました。趣味は音楽演奏でいろいろな楽器に挑戦しましたが、ピアノ演奏が一番好きです。今手元にピアノが無いのが一寸残念です。趣味と実益を兼ねる為暫く幼稚園の先生として働いておりました。又旅行が大好きで中国の主な都市、アジアの諸国には行きましたが、未だヨーロッパ、アメリカには行った事が有りません。日本に昨年の九月に来て、丁度一年になるところです。今日本語の勉強に励んでおります。蝉の声、風の音を聞きながら竹林の中で恋を語るのが私の故郷です。一度お出掛けください。



●故郷のお寺で丹羽友蘭さん

日本語ボランティアでの活動

田中啓達（鷺沼台在住）

僕は現在日本語ボランティアとして活動しています。僕達が普段当たり前の様に使っている日本語を教えるという事は、それだけでとても興味深く、楽しいものです。実際は教えるというよりおしゃべりの時間と言った方が正しいのかもしれません。一つの言葉を教えるにしても、例は挙げられてもその言葉自体の意味を正しく伝えるのはとても難しいと痛感しています。

ただ、僕は現在中国の方を相手にしており、漢字という文化を共有できているのはとても大きいと思います。しかも、相手の方のレベルが高く、楽をさせてもらっています。

先に書きましたが、普段当たりまえの様に使っている日本語を見つめなおすいい機会を与えてもらっていると最近思います。

僕は現在大学生で、かつて人に物を教えるといった経験は皆無です。そういう意味でどっちがボランティアをしているのかわからないなあと苦笑する今日この頃です。



●N.I.A.事務局で 田中啓達さん

Let'sチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.51／プレゼント付！

〈ACROSS〉

- The capital city of the Queensland in Australia.
- Point marking the end of a race.
- Supreme Court
- I, —, me,
- New England
- The river in the east of Germany, and the Hamburg City stands at the mouth of this river.
- A flesh-eating domesticated animal related to the wolves, jackals, and foxes.
- I have your name, please.
- 2nd alphabet in Greece.
- Abbreviation for editor, edition, edited, etc.
- A chemical symbol for Germanium.
- Prefix meaning to make, cause to be.
- Polite form of address.
- Members of a group of persons who work, play, act, etc.

〈DOWN〉

- The space behind the lower walls of a building.
- Inspector General.
- Give me — more water.
- Part of a sea within a deep curve of the coastline.
- American League.
- Gracefulness
- Old past participle of "clothe".
- Short record (of facts, etc.) made to help the memory.
- He lives in the house — the lake.
- Destroyer Escort.
- Long, thick, and usually heavy bar of wood, especially one used building.
- Precious stone or jewel, esp. when cut and polished.
- District Attorney.
- Royal Academy.

1		2	3	4	5		6
			A				
	7						
8	9		10		B	11	
		13			14		
			F	16			
17	C		18			19	D
	20				21		
22	E						

〈出題者〉 御園生 馨 (編集部)

〈応募要項〉

クロスを解いたあと、A～Fの文字をつなげてできたことばが正解です。

ハガキに解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。9月末日必着。

正解者の中から抽選で3名の方に、オリジナル・Tシャツをプレゼントします。

宛先：〒275-0016 市内津田沼5-12-12
サンロード4F 習志野市国際交流協会
「N.I.A.スクウェア」編集部まで。
たくさんのご応募お待ちしています。

比較文化講演会「わたしがみた、へんなくに 日本」

N.I.A.スクウェア49号で紹介したB.B.モフランさん（コンゴ出身のミュージシャン・市内大久保在住）は、現在ラジオ、テレビに加えて劇団四季の「ライオン・キング」に出演するなどますます活躍を続けております。今回N.I.Aからの依頼に心良く出演をお引受け頂きました。

皆様の参加をお待ちしております。

日 時：2000年9月16日(土) 午後2時より
場 所：京成津田沼駅ビルサンロード6階
内 容：レクチャーとパーカッション演奏
入場無料 先着100名
お申し込みは、N.I.A.事務局へ
(比較文化部会)



編集後記

●今回は、モルディブ共和国を特集しました。「かつお節」を作っていることを知り、親しみを感じました。生活の知恵は、われわれと同じアジアの国だからですね。(館川 裕)

●シドニーまであと15日。約7800km離れた南半球で開幕するオリンピック。その熱戦を日本の茶の間で楽しめる幸せを大切にしよう。今なお世界各地で続く地域紛争の1日も早い解決を願いつつ。(御園生 馨)

●N.I.A.スクウェアも50号を超えた。これまで紙面に登場した様々な国の人々のコメントに、たくさんの勇気をもらいました。これからも頑張って編集していきたいです。(井吉 征仙)

●20世紀最後の衆院選という政治の季節が終わり、残暑厳しい日々が続いています。現行の制度が本当の民意を反映し、良き政治を実行するために有効なのかどうか…(木村 孝浩)

●自主活動は困難も多々あるけれど楽しいもの、うっすらとだけ心が浄化するものを感じる。(沼澤 佳子)

●この程、外国人の方々が日本で働くための英語のガイドブックを出版しましたが、日本人側の価値観を広げ、深めることも、おつきあいを長続きさせるための必要条件ではないかと思います。(本田 博)

前回の解答

〈解答〉 TUSCALOOSA

U	S	A	R	O	B	E
N	E	C	K	N	O	T
I	A	N	G	T	C	
T	S	O	U	H		
P	O	W	E	R		P
H	E	N	S		B	O
I	R	S	T	A	I	L
S	U	R	E	T	O	E

当選者<オリジナル・Tシャツ又は
スポーツキャップ>

牧之段町子さん 小池 優子さん

村山 智恵さん 薄井 美和さん

高橋 俊樹さん

正解者は24名でした。

N.I.A.スクウェア・第51号

発行2000年9月1日/発行責任者・林 安次

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・館川 裕

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.city.narashino.chiba.jp/nia/>

<Eメール> nia@city.narashino.chiba.jp